

会員の
ひろば

私のお薦めコーナー 大通公園散歩

対馬 一男

黄昏時になると酒を求め、肴を求めて巷をさまよう私も、晴れた休日には健全に札幌の街を散策し、小さな発見に胸をときめかせています。大通公園を歩いてみると、実に多くの彫刻やモニュメントがあることに気付かされます。とりわけ本郷新や山内壮夫、佐藤忠良らの彫刻が有名ですが、今回は大通公園界隈に散在する意外なモニュメント等をご紹介しますと思います。

まずはモニュメントではありませんが、大通 1 丁目の札幌市民ホールとテレビ塔の間に樹径 1m を超える立派なハルニレの木が屹立しています。札幌景観資産になっている「市民会館前のハルニレ」は推定樹齢 300 年と言われているので、札幌の開拓時代より遥か以前からこの地にあったことになります。この木の存在に今まで気付かなかった方は、お詫びの気持ちを込めてそっと触れてみましょう。永年にわたり郷土を見守ってきた鼓動を感じ取ることができるかもしれません。



写真-1 市民会館前のハルニレ

札幌市民ホール南側に広がる前庭に「豊平館跡」と刻まれた小さな碑があります。現在、中島公園にあ

る豊平館は、昭和 33 年(1958 年)に移築されるまで開拓使の官営ホテルとしてここにありました。明治天皇が最初の宿泊者でした。



写真-2 豊平館跡碑

札幌市役所は、昭和 46 年(1971 年)に中央創成小学校跡地に建てられました。本校は明治 4 年(1871 年)に開校し、昭和 40 年(1965 年)に南 3 条西 7 丁目の西創成小学校(現 資生館小学校)に統合されるまで、ここに建っていました。市役所庭園内には花崗岩でできた記念碑があります。



写真-3 中央創成小学校跡碑

市役所の向かいあたりの大通公園内に綺麗な花壇を見つけました。市内の造園会社が作ったものですが、「大通花壇コンクール努力賞」の看板が添えられていました。メルヘンチックでほのぼのとした雰囲気を感じられたので、写真に収めてみました。



写真-4 メルヘンチックな花壇

大通公園西2丁目の北側にあるのはベンソンの水飲みです。1966年(昭和41年)に札幌にとって最初の姉妹都市である米国のポートランド市から寄贈された水飲みです。1912年(大正元年)にサイモン・ベンソン氏が、喉が渇いて泣いている少女を見て哀れに思い、水飲み場を作り同市に寄贈したのが始まりです。この水飲みはモニュメントなので水は飲めません。悪しからず……。



写真-5 ベンソンの水飲み

今回は大通公園西1丁目から西2丁目境界のモニュメントをご紹介しましたが、大通公園には他にも多くの彫刻やモニュメントが存在します。それら

の作品については、機会がありましたら第2弾としてご紹介したいと思います。



- ①市民会館前のハルニレ
- ②豊平館跡碑
- ③中央創成小学校跡碑
- ④メルヘンチックな花壇
- ⑤ベンソンの水飲み

対馬 一男 (つしま かずお)

技術士(建設/総合技術監理部門)

北武コンサルタント株式会社
札幌シティガイド

